

北大宮校協議会理事各位

4期校友会は、連合会「役員専任化構想最終報告」や「役員専任化体制の導入」に記載されている処遇・任期と条件（後継者育成）について異議表示のため2021年度1年間休会とさせていただきます。

5月11日の連合会定期総会で、私は、専任体制は会員激減のための方策として肯定的ですが、処遇・任期と後継者育成等について異議を発言しました。尾池議長は早く総会を終わらせたいと最初から発言していましたので、この2点だけに絞り説明を伺いました。

① 処遇の報酬については、二人で年24万円、会員2000人とする、年会費40万円、約会費の60%、交通費や名刺代を含め年30万円とすると会費の75%がお二人のために使われます。会員1500人分の会費です。ここが問題です。会費は会員の活動費として徴収されるのに、ほとんど専任理事の報酬等のために使われます。高すぎます。このお二人、プロジェクトチーム（PT）の方は何とも思わないのでしょうか。ボランティア精神のひとかけらも見えません。任期は3年以上です。定期総会の時、東浦和校の元総務部長熊谷氏は「仕事が大変さは分かるが、報酬年10万（役員専任化体制の導入案では12万）は高すぎる。」と2回も発言していました。北大宮校の福田会長は壇上にいたせいかこの発言は聞こえなかったようです。議事録担当者の北大宮校6期の柳井様も壇上にいたので、議事録には、私や熊谷氏の発言等の異議は記載されていないかもしれません。しかし、定期総会参加者はしっかり聞いたと思います。

北大宮校協議会理事会でも皆様ご存知のように、嘗て総務部長を担当した1期の宮道様も「交通費位報酬で支払えば良いのではないか。」と発言しています。

② 後継者育成について。「役員専任化構想最終報告」、「役員専任化体制の導入」案には、PTの方が自分たちの処遇について具体的に明確に記載されていますが、専任になる方の条件の一つとして「後継者育成のできる方」の文言については具体的な方策が何一つ記載されていません。また、連合会規約の総務、企画部長の仕事内容に、後継者育成の文言が処遇同様記載されていないので、尾池会長に記載することをお願いしました。総会後検討し記載されるか、されないか分かりませんが、大・中企業や公共機関等は社員等の育成は大事な仕事として、位置付けられています。

PTの自分たちの処遇や任期だけが具体的に検討されてきた役員専任構想のように思えます。PTメンバーは、3月30日の役員専任化構想の最終報告によると、代表は議長の尾池（大宮）、委員は：伊東（北浦和）、福田 or 西川（北大宮）、瀧田（岩槻）、山本（東浦和）事務局：金井（大宮）の6～7名です。尾池様は今年度会長職を退任、瀧田様は連合会岩槻校休会で、今年度から常任理事会は不参加、残りの4～5人の中から、金井氏が専任総務部長、山本氏が専任企画部長に就き、北大宮校の福田氏は輪番制の連合会会長に就いたわけです。福田氏の報酬は現在無いようです。

大企業等は業績不振になると、事業をスリム化し、経営の立て直しを図りますが、連合会は会員数が激減しているのに逆に事業拡大に進める方向です。私から見れば、「役員専任化

構想最終報告」、「役員専任化体制の導入」は正に、自分たちで自分たちの報酬、任期を決め、そのために事業拡大をし、連合会の財源を豊かにしようとする茶番劇、本末転倒の構想・導入としか思えません。会員のための連合会でなく、専任理事報酬のための連合会に成り下がってしまったということです。

私も連合会常任理事4年間、連合会 HP 委員として3年間（2年間は常任理事と兼職）、計5年間連合会の仕事に関わりました。総務、企画部長の仕事の大変さはわかっています。しかし、総務の仕事は定期総会の前春頃、企画は冬頃が大変で1年間を通して毎月大変ではありません。北大宮校の宮道様、東浦和校の熊谷様、北浦和校の瀧澤様等が作成した総務の仕事のマニュアルを見ればそのことも一目瞭然です。そんなわけで、4期校友会全員は異議表示（会費は会員活動のために使ってもらいたい。）のために2021年度は休会とさせていただきます。

私事ですが、今年度グラウンドゴルフ体験会には参加していましたが、今年度は参加できなくなりました。来年度小川、大塚ともに参加する予定です。1期の増田様、棚橋様、クラブ等を貸してくれた方（名前がわからないので失礼）、6期の田村様、そしてチームの皆様、きめ細かいご指導等ありがとうございました。とても楽しかったです。文書報告になりましたが、今後とも宜しくお願いします。

2021年5月28日 室井